

第7回 NCES シンポジウム開催報告書

2020年12月14日

1. シンポジウムプログラム

日時

2020年12月4日（金）15:30 -- 17:55（情報交換会：18:00 --19:00）

場所

オンライン開催（Zoom）.

補足：ポスター発表は、ポスターごとに Zoom ブレイクアウトルームで実施.

主催

名古屋大学 大学院情報学研究科 附属組込みシステム研究センター

協賛・後援

分野・地域を越えた実践的情報教育協働ネットワーク（enPiT）

enPiT-Pro Emb 組込みシステム技術者のための技術展開力育成プログラム

車載組込みシステムフォーラム（ASIF）

NPO 法人 TOPPERS プロジェクト

参加費

無料

開会挨拶 枝廣正人（名古屋大学 大学院情報学研究科長）

招待講演 スーパーコンピュータ「富岳」の強み

石川裕（理化学研究所 計算科学研究センター

フラッグシップ2020プロジェクト プロジェクトリーダー）

NCES 活動紹介 組込みシステム開発技術の変化と NCES の取り組み

高田 広章（附属組込みシステム研究センター長 教授）

資料は[こちら](#)からダウンロード可能

ポスター発表 ショットガントークスライドは[こちら](#)からダウンロード可能

* ポスター発表は、Zoom ブレイクアウトルームで実施

Room	ポスタータイトル（発表者）
A2P コンソーシアム	
P-01	A2P コンソーシアム（NCES 松原豊、竹内健、高橋良輔、高田光隆）
P-02	A2P 開発環境構築の最適化（パーソル R&D 株式会社 伊藤剛）
APTtool コンソーシアム	
P-03	APTtool コンソーシアム（NCES 高田光隆、芦岡 徳之、築田 天馬、前原 宏司、村永 健）
P-04	有向グラフによる AUTOSAR 定義の俯瞰を VR 空間で行う試み（UT テクノロジー 芦岡徳之）
DM2.0 コンソーシアム	
P-05	ダイナミックマップ 2.0 の高信頼化技術に関するコンソーシアム（未来社会創造機構 渡辺 陽介）
P-06	高速道路インフラと車載センサを利用した合流支援のための位置推定（未来社会創造機構 山田峻也）

P-07	DM2.0 PF パブリッククラウド対応による社会実装に向けた取り組み (株式会社 NTT データ MSE 徳井 竜也)
コンソーシアム以外の研究	
P-08	車載制御システムのセキュリティ強化技術 (NCES 倉地亮)
P-09	衛星搭載ネットワーク・ソフトウェアアーキテクチャの構築 (NCES 高田光隆)
P-10	プログラム解析に基づくソフトウェア開発支援 (NCES 吉田則裕)
P-11	ポストムーア時代に向けた回路設計検証技術 (NCES 増田豊)
P-12	ローエンド IoT デバイス向けハイパーバイザ (NCES 李奕驍)
教育	
P-13	enPiT2 ~QproB 教材の設計について (NCES 舘伸幸)
P-14	組み込みシステム教材としてのローバー競技/マルチコプタ競技への取り組み (東海大学 大江信宏)
P-15	enPiT-Pro Emb の概要 (NCES 山本雅基)
P-16	enPiT-Pro Emb 社会人技術者向けオンライン教育 (NCES 福島泰子)

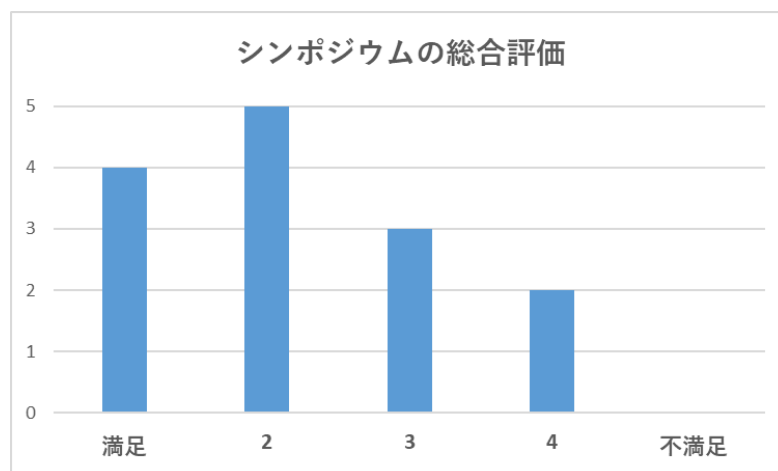
2. 開催結果

Peatix での申込者数 88 名

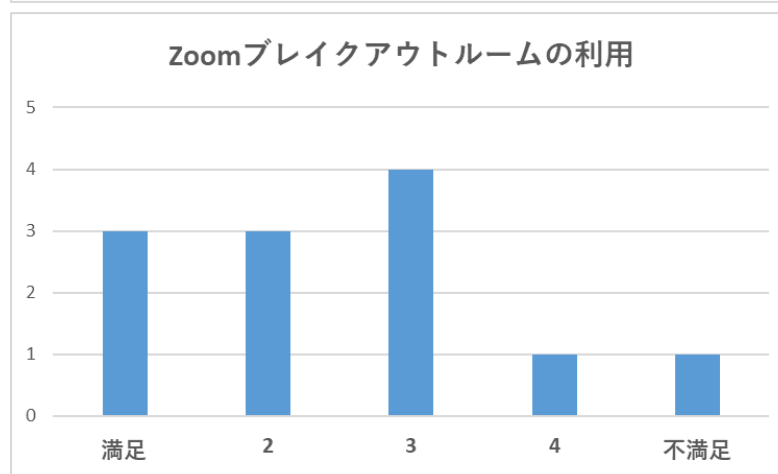
参加者数 98 名

2.1 アンケート結果

回答者数 14 名



(満足から不満足まで 5 肢選択)



(満足から不満足まで 5 肢選択)

感想（全体）

- スパコン富岳のお話が興味深かった。
- 富岳の話、高田先生の話はよかったです。
- 石川氏と高田先生のお話しか視聴できなかったのですが、興味深く聴かせていただきました。良かったと思います。
- 富岳は難しく感じました
- 興味ある話題があり、大変よかったです。また Web 開催は移動がなく参加出来るのでうれしいです。

感想（ブレイクアウトルームを利用したポスター発表）

- ブレイクアウト部屋が面白かった。
- オンラインだと誰かが話をしていると話が終わるのを待たなければならず、ポスターセッションを見て回る時間が足りなかった。
- 内容は非常に良かったが、時間が足りない。
- ポスターは一部を除き、あまり出入りの動きがなかったようです
- NCES シンポジウムとしては初めての試みだったかと思いますが、大きなトラブルなく実施できたのではないかと思います。
- VR 空間をもっと利用することを検討してはどうか。
- 2つ目以降のブレイクアウトルームは、説明が途中からとなりきちんと理解できない部分もありました。入退場の時間設定があるとよいと思います。

NCES の研究・教育活動に対する期待や要望

- 今後も時間都合がつけば分野情報の周知の為参加したい。
- 情報を取得する為に、今後も定期的に外部に発信するイベントを開いて頂きたい。
- 「enPiT-Pro Emb の概要」はつまらない。抜本的に見直すべきだろう。今のままでは非効率的で役に立たない。

以上